

私たちの看護研究

看護の現場で研究に取り組むには

看護の質の向上をめざすには、日々の実践を振り返って、今看護の場で何が起きているのか、何が問題なのかについて考えをめぐらしてみることが重要です。そのためには研究が役立つのですが、何をどうやって研究すればよいのか、戸惑っておられる方々も多いのではないのでしょうか。

今回、高知県内の精神科病院と訪問看護ステーションで取り組んでいる看護研究を事例として提供していただき、そのプロセスで困っていることや苦勞していることなどを話しあい、どのように進めていけばよいかを参加者とともに考えたいと思います。

精神科に限らず、関心のおありの方、ぜひご参加ください。 参加費は無料です。

◆日 時：2013年10月26日（土）14：00～16：00

◆場 所：高知県立大学 池キャンパス 本部・健康栄養学部棟3F A305 講義室

〒781-8515 高知県高知市池 2751-1 TEL：088-847-8700（代表）

アクセス：<http://www.u-kochi.ac.jp/~kango/access.htm>

◆事例提供：一陽病院

社会医療法人近森会 訪問看護ステーション ラポール

◆ファシリテーター：武井麻子（日本赤十字看護大学）

◆お問い合わせ（e-mail）：a2-takei@redcross.ac.jp

- 高知自動車道／高知ICから車で約25分
- 高知龍馬空港から／車で約20分
- JR高知駅から／車で約20分
- はりまや橋から／バスで約20分

